



外国出張報告書

平成 26 年 4 月 24 日

1. 出張国名 インド
2. 出張月 平成 26 年 1～3 月
3. 出張目的 ソルガムによる生物学的硝化抑制の研究、とりまとめへの着手と補足データの取得

4. 成果の概要

スイートソルガム圃場における窒素動態の定量的に評価する一環として、乾季作ソルガム圃場（土壌は Alfisols）におけるアンモニア揮散を定量した。アンモニア揮散量は、施肥量に対して 3.5～4.3%相当であり、降水の影響がないために乾季作よりも基肥、追肥（2 回）との間のばらつきが少なかった。

また、乾季のスイートソルガム圃場にて定期的に土壌（0-90cm）を採取し無機態窒素の垂直分布を観測した。その結果施肥窒素の溶脱による損失はほとんどないことが示された。

酸性耐性品種と酸性感受性品種とをポットで栽培し、生物学的硝化抑制（BNI）能の差について評価を行うための実験を開始した。

これまでの成果の取りまとめに着手した。